



太陽に向かって満開り 1万本のひまわり輝く

赤幡第二公民館周辺の休耕地で、地域住民が育てたヒマワリ1万本が見ごろを迎えました。

これは、赤幡第二自治会の住民が休耕地を有効活用して魅力的な景観づくりをしようと結成した「水と緑の保全隊」が企画したもので、同隊と地域住民が協力して、約22.5アールの休耕地に種まきをしました。

盛夏の日差しを受けて真っすぐに伸びる黄色の大輪の花が、訪れた人たちの目を 楽しませていました。